

文書の目的についての概要

この文書は、地球規模の健康について世界作業療法士連盟(WFOT)のポジションを示すものであり、この概念の適用と作業療法専門職の関連事項を探索するものである。

とるべきポジション

地球規模での健康は、学問、研究、実践の一分野であり、世界中の全ての人々の健康を改善し、平等性を達成することを優先事項とする。地球規模での健康が強調するのは、国家を超えた健康問題、決定要因、解決策であり、健康科学とそれ以外の多くの学問分野が関わり、学際的協働を推進するもので、個人レベルの臨床的ケアと共に、全住民の予防を統合して行うものである(The Lancet, Vol. 373, 2009年6月)。

作業療法士は、作業療法を通じて、そして他の組織や人々と一緒に協働して、意味のある作業を基盤とした独自の技能を使って、こうした問題を強調しながら行動しなければならない。

作業療法は、社会や個人の地球規模での健康に貢献する。それは意味があり目的がある作業に結び付く権利を行使できるようにすることによってなされるのであり、医学的診断、社会的スティグマや偏見に関わりなく行われる。地球規模の健康という概念は、作業療法の実践、教育、研究の中核である。

作業療法にとってのポジションや問題の重要性

地球規模の健康は、作業療法士が関与する多くの関連事項を含む。これには、感染する可能性がない疾患、感染症、外傷による人生の変化に付随するリハビリテーションニーズ、慢性状態、精神的健康、高齢期の寿命延伸が含まれる。

適切とされる社会にとってのポジションの重要性

地球規模の健康が、歴史上の時代を定義することも知られている問題である(Foege 他, 2005)。貧困、スティグマ、偏見、過激論者の体制すべてが、世界中に根ざしている虐げられた経験に寄与している。私たちの社会の現在の要求やニーズに直面し、長い時間をかけて優先するニーズを強調する持続可能なパートナーシップを作り上げることが重要である。

このポジションの実質的論拠

5つのタイプのパートナーシップが特定されており(Foege 他, 2005)、それは地球規模の健康問題を強調する世界の能力における中心的価値観であるとみられている。そのパートナーシップとは、①WHOが他の世界組織を発達させている、②公的及び私的な寄付双方により、関与している機関が世界レベルから地方レベルまでである、③WHOが国家および地方の健康についての権限をもっている、④自分たち自身の健康と福祉を強調し直面する個人や地方のグループが関わっている、⑤非政府組織や地域の組織が共に取り組んでおり、技術者、教育者、市民、政策立案者が表れ、優れた技能を持って、こうしたチャレンジに立ち向かう準備をして豊かな地域を作ろうとしている。この最後の5番目のカテゴリーに、作業療法はうまく合致しており、地方組織と関わり、特定の党派に属することなく、WFOTの地球規模でのリーダーシップを発揮することを通してこれを行う。

チャレンジとストラテジー

直面するチャレンジは、組織の集合体としての視野から見ると見える。同様に重要な複数の個人が抱えるチャレンジには次のことが含まれる。他の国で使われている適応技術を違う地方の状況に適応させる。そうすれば多くの地方でリハビリテーションのためのトップダウンアプローチを克服することになる。この分野で強調するストラテジーには、対話と研究を含む。関わるためのストラテジーは、地方レベルから世界レベルへとすべての作業療法士を導きうる。

パートナーシップの構築:WFOTは、目的と成果の発展が向上し達成に向かうのは、会員国が他の作業療法集団やその他の分野や国際的組織と共にパートナーシップを結ぶときだと信じている。これは作業療法がもっとも価値をおくことに関連する優先事項に焦点を当てていくようなネットワークを実現することとなるだろう。

<https://www.wfot.org/resources/global-health-informing-occupational-therapy-practice> (2019年11月22日 吉川ひろみ・訳)

主張する者としての私たちの役割において、サービスが限られているような分野における健康サービスに自由にアクセスできる革新的モデルを実現するための境界線を押しやることができる。その場合には、清潔な水、安全な住居、教育、意味のあるコミュニティ参加を確実にするために、他の NGO や地方の地域の能力を高める人々と共に取り組んでいく。作業療法がより確立し、国際的コミュニティにおいて認識され価値あるものとなるとき、戦争後の被災状況や社会の動乱や革命に対処する地域との関わりにおいて、世界を変化させるイニシアティブをとる上で真のパートナーとなりうる。

普及:多くの作業療法士が地球規模の健康のチャレンジの複雑さに気づいていない。そのため、地球規模の健康ニーズや優先事項についての情報が、世界の作業療法士にとって利用可能とならなければいけない。逆をいえば、途上国の多くは作業療法士の技能や、その影響力に気づいていないか気づいていないかもしれない。地方や国家レベルでの重要なパートナーシップの欠如といったことに。

教育:地球規模の健康のチャレンジや潜在的な作業療法の役割についての教育は、すべての作業療法教育課程にとってカリキュラムの重要性が高まっている領域である。

研究:研究パートナーシップも、作業療法士が学際的研究チームにおいての研究者となるために重要である。加えて、もっとも効果的な作業療法の影響力を探求するような独立した研究疑問は、地球規模の健康という問題を強調する専門的ストラテジーの必須事項である。

結論

技術とコミュニケーション方法の進歩により、多くの適用をしていくのに世界はますます小さくなっている。世界人口の健康と幸福のために、多くの適用が希望となっている。それは、地方のエキスパートや状況と共に熟練した技術を使う複数の国の関与が形成された中で起こっている。健康専門職が直面している現在の状況は、選択され必要とされる作業が実行可能となったり、その作業に結び付いたり、コミュニティやより意味のある人生を創造したりすることを通して、作業療法が大きな役割を果たしうるということである。ネットワークを形成することは、引き継いだり、新たに打ち立てたりするために、過去の経験と知識を使うということである。こうしたネットワークは、知識、技能、適用、達成の宝庫となる。

文献

William H. Foege, Nils Daulaire, Robert E. Black, Clarence E. Pearson. (2005). Gobal health leadership and management. John Wiley & sons Inc. San Francisco CA.
Jeffrey P Koplan, T Christopher Bond, Michael H Merson, K Srinath Reddy, Mario Henry Rodriguez, Nelson K Sewankambo, Judith N Wasserheit. (2009) Towards a common definition of global health. The Lancet, www.thelancet.com, Vol 373 June 6, 2009